



©WFP/Tiphaine Walton

果物を運ぶニジェールの少女（2018年3月）。国連WFPは少女の集落で、農地整備などの対価として食糧を渡し、自立を助けています。

飢餓から救う。未来を救う。

国連の食糧支援機関

国連WFPニュース

May. 2018 Vol.56

SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けて
—国連WFPを通じてできること—



「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)は、2030年までに達成すべき17の国際社会の共通目標をまとめたもの。国連WFPは、目標2「飢餓をゼロに」が他の目標達成の基盤にもなるとの考えのもと、その実現を目指しています。

シリア内戦8年月、厳しい生活再建



シリア内戦開始から、3月で8年目に入りました。550万人が国外で難民生活を送っていますが、職に就けず貧困に陥る人も多く、生活再建は容易ではありません。

難民のひとり、ハムダが体験を語ります。

「アレッポで学生をしていました。通りのざわめきや月桂樹の香り、さまざまな国の人が溢れていた市場を思い出します。私にとって最も美しい町でした。

いつかシリアに帰りたい。でも今は悲しい思い出ばかりです。町は壊され、私は夫を亡くし、わずかな品々—身分証明書、父がくれた手鏡、シリアの小銭—を持って逃げるのが精一杯でした。

ヨルダンで一から出直しています。ファッションデザイナーになるのが夢です」

国内では東グータなどの包囲地域で、多くの人が空爆の恐怖と飢えに苦しんでいます。650万人が食糧不足に陥っていますが、国連 WFP の支援は資金不足のため毎月 300 万人分にとどまります。長引く内戦で、シリアの人々への関心が薄れることが懸念されます。



インフォメーション

国連WFPのスローガンが変わりました！

新スローガンは「飢餓から救う。未来を救う。」(Saving Lives Changing Lives)です。飢餓ゼロの先にある未来に向け、国連 WFP は取り組みをさらに進化させていきます。ご支援をよろしくお願いいたします。

国連WFP公式アプリをダウンロードすると給食1日分の寄付に！

国連 WFP の公式アプリ「FOODeliver」では、1ダウンロード(無料)につき給食1日分の寄付(※)になるキャンペーンを実施中です。1万ダウンロードで1万人の子どもに支援を届けることを目指します。これを機に、国連 WFP 情報満載のアプリをご活用ください！※協力企業(日清食品ホールディングス株)から寄付されます。

<http://www.jawfp.org/foodeliver>



あなたのご遺志が、命を支える食糧となり未来への希望に繋がります。

遺言によるご寄付や相続財産からのご寄付には相続税がかかりません。詳しい資料をお送りしております。お気軽にお問い合わせください。

メール legacy@jawfp.org
電話(通話料無料) 0120-496-819
(9:00 ~ 18:00 年中無休)



身近にできる国連WFP支援

レッドカップキャンペーン



(株)中村屋の本格的レトルトカレー「インドカレー」が、レッドカップキャンペーンに参加しました。売り上げの一部が学校給食支援に寄付されます。



ウェブサイトリニューアルのお知らせ

国連 WFP のウェブサイトが変わりました。大きな写真や動画をちりばめ、これまで以上に見やすく分かりやすい情報を提供しています。ぜひご覧ください。

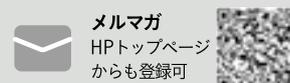
WFPチャリティーエッセイコンテスト2018

専用ウェブサイトが6月4日にオープンします。

<http://www.wfpessay.jp/2018>

応募1作品ごとに給食1日分(30円)が寄付されます。今年も皆様のご応募をお待ちしております。

最新の情報は…



国連WFP
www.wfp.org/jp

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 6F
0120-496-819
受付時間 9:00 ~ 18:00 (通話料無料・年中無休)